

自律した学習者になる

仁科台中学校 学校だより No. 5 令和3年 8月23日(月)発行
文責：永田 治(教頭)

校長先生のお話 ~2学期終業式より~

みなさん、おはようございます。29日間の夏休みが終わりました。みなさんは、この夏休みをどのように過ごしたでしょうか。

仁科台中学校では「自律」がキーワードとなっています。そのようになったことと思います。さて、いよいよ今日から、長い2学期が始まります。2学期は厳しい暑さが残る8月から、本格的な冬のシーズンがやってくる12月まで、86日間の長丁場です。

この2学期、私が、みなさんに願うことは「一人一人が輝く2学期に」してほしいということです。

1年生は中学校生活にもだいぶ慣れてきたのではないのでしょうか。

自分なりの生活や学習の仕方をつかみかけてきたことと思います。みなさんは1学期に、立山・室堂散策を体験しました。係活動を通して、みんなで協力する大切さを学び、「学級・学年の友達の和」を広げました。係での自分の役割をきちんと果たし、責任感も身につけてきた人も多いはずです。また、生徒会にも意識を高め、次の委員会を決めるときには、「3年生になったら、委員長をやりたいので、2年生ではこの委員会に立候補しよう」という前向きな気持ちをつくっていきましょう。

2年生は、大きな意味をもつ2学期となるでしょう。

進路学習を進めながら、自分の将来をみつめ、自分の夢や目標をしっかりと描くときです。また、3年生から生徒会をバトンタッチされることでしょう。そのためにも、仁科台中学校の伝統を受け継ぐ自覚をもち、「こういう学校をつくりたい」という考えをはっきりさせながら、仁科台中学校の生活文化の柱をしっかりと描いてください。

3年生は、自分の目指す進路に向けて一層努力するときです。

今まで培ってきた様々な力を総動員して、かけがえのない自分を大切に思い、自分をよく見つけ、自分のよさを存分に発揮できる進路選択をしてほしいと思います。そして、自分の目標に向かって、真剣に取り組んでほしいと思います。自分の人生は自分で切り拓いていくんだという強い信念をもってください。

「意志あるところ必ず道拓ける」という格言があります。この言葉を胸に頑張ってください。

2学期のスタートにあたって、対話を基盤にした授業についてお話します。

授業の始まりで、みなさん一人ひとりが学習問題と出会います。

その時、一人では解決できない問題と出会って、誰かの力を借りたいと思うことがあります。

その時、友達と話してみたい、自分が気づいたことを伝えたいと思います。

その時、対話が必要となり、知らず知らずのうちに対話が始まります。

その時、次のような質の高い思考活動が行われます。

- ① 自分が導き出した解が適当なのか吟味・検討する。「これでいいのか?」と考えます。
- ② 自分の外にあるものを取り入れて修正していく。Today's Goal に照らして修正・確認する。「こうしたほうがよさそうだ」(「これでいい」)という場合もあります)
- ③ 修正したものを自分で表現する。

授業は個で始まり、個で終わるものです。その1時間の答えが最上のものとなるために対話

が必要なのです。2学期は、1学期の終業式でお話ししたように、仁科台中学校の生徒のみなさんが、誰とでも学べる生徒になり、学びに向かう力をさらに高めていってほしいと思います。そして、先生方と一緒に生徒のみなさんが、時間が過ぎるのを忘れるくらい夢中になる授業になることを期待しています。そのために、対話の学習では、4人グループを基本とします。そのグループで、学びを深めていってください。いつも対話があるわけではありません。ちらっと、隣を見て考えることも必要なことです。一人でじっと考えることも重要です。授業に関係のないおしゃべりはしません。

そこで、生徒のみなさんに身につけてほしい3つの学び方を示します。学び方の基本として次の3つがとても大切です。

(1) わからないと言う (2) 友だちの声に耳を傾ける (3) 自分のわからなさを追究する

この中で、「わからない」と言えることが最も重要です。「はい」「はい」と活発に意見が飛び交う授業は、わからない生徒がわからないままに置き去りにされ、ますます消極的になります。

次に、「友だちの声に耳を傾ける」ことは、互いの存在やわからなさを大切にした「語り合い」を目指します。わかっている生徒が「わからない友」に一方向的に教えるのでは、わからない生徒は主体性や積極性も向上しなくなります。そして、対話活動で友の考えに寄り添うことで、自分のわかっている状態が再認識でき、より深い理解につながります。自分の状態を認識して「自分のわからなさを追究すること」が理解を深めることにつながります。授業の中で、「これはどういうことかな?」「これもそうかな?」「いや、ちがうんじゃないの?」「え、なんで?」「だってさあ、～」という言葉が出てくる授業は、学びが深まっている証拠です。グループの中で、誰とでも学び、自分の学びを深めていきましょう。

2学期は様々な学校行事があります。その中で、何ととっても大きな行事は、蓮華祭でしょう。今年の蓮華祭のテーマは、生徒会スローガンと同じく「first penguin (ファーストペンギン) ～充実した学校～」です。今日から一日一日を大切に過ごし、333名全員の力で蓮華祭を創り上げていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配されています。毎日の健康観察、体温チェックを欠かさず行い、具合が悪い時は、無理をせず休んでください。学校では、手洗いを徹底すること、マスクを着用すること、マスクを外すときは十分な距離をとることを行ってください。自分や、自分の大切な人を守るためです。コロナウイルス感染者やその家族、医療関係者等への差別や偏見を絶対にしないようにしてください。SNS等で、不確かな情報や人の悪口を書き込むことは、絶対にしてはいけないことです。このことでも、ほかのことでも、心配なことがありましたら、近くの先生に相談してください。

仁中健児の活躍 ～北信越大会～

夏休み中に行われた北信越大会の結果をお知らせします。

【水泳部】

丸山 朋也 男子 100m自由形 第8位 57" 62

男子 4×100mフリーリレー (丸山朋也、原山曜、原悠斗、林龍) 第6位 4' 01" 16

【体操部】

林 未琉

ゆか 11.50 第16位 あん馬 10.55 第9位 跳馬 10.40 第22位

鉄棒 10.65 第10位 総合 43.10 第16位

湯本 朱音

跳馬 12.00 第18位 段違い平行棒 6.80 第28位 平均台 11.45 第12位

ゆか 11.15 第16位 総合 41.40 第18位